

○「砂丘農地での砂利採取や地区連携話し合う」

(京都市京丹後市 砂丘3地区 平成31年度第1回)(久美浜地域会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

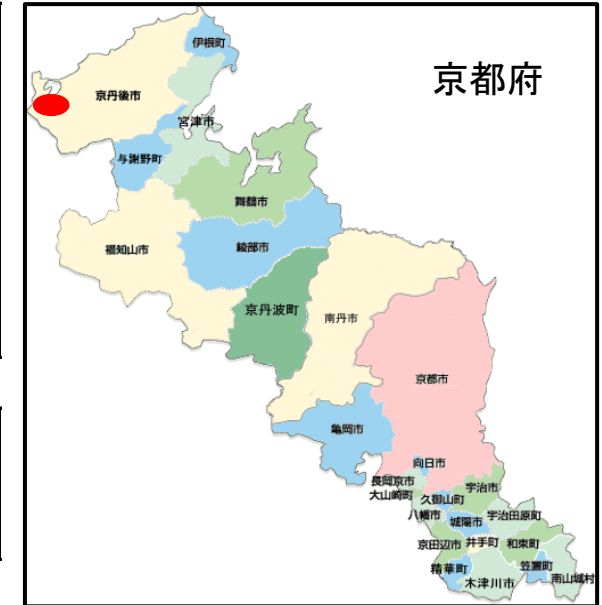
- 日時(時期): 令和2年1月15日(水) 19:00~21:30
- 場 所: 京丹後市久美浜町農業センター
- 出席者: 委員1人、推進委員1人
多面事業役員、農家5人
委員2人、委員以外5人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 旧村8地区からなる広大な地域で、三つの河川と山間部、平地、砂丘地、国営農地などにより、多様な農業が実施されている
- 山間部については、遊休農地が見られるが、農業法人11社が担い手の中心となっている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 鹿野地区: 課題は灌水施設、砂利採取の埋め戻しで雨水が浸透せず湿地化で遊休化のおそれ、等
- 葛野地区: 専業農家3戸、遊休農地発生、砂丘畑の話し合いは出来ていない、砂利採取後の湿地化
- 箱石地区: 専業農家4戸(うち1戸は後継者有り)。砂利採取の埋め戻しは土だが、飛砂の表土不足が発生
- 意見交換
 - ・砂利採取の窓口、事後検査を誰がするのか明らかでない ・窓口の一本化の検討が必要
 - ・飛砂防止の防風林の整備が必要 ・砂丘畑ほ場整備で区画整理、灌水施設整備等の検討が必要
 - ・プラン、中間管理事業説明 ※次回は2月14日 19時~



4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援